

SDGs 達成のための ESD 担い手育成事業 — 2021年1月～3月進捗状況 —

SDGs の達成に向け、市民が環境を軸とし自分事として取り組み、千葉県内における持続可能な社会の実現を目指すために、「持続可能な開発のための教育(ESD)の視点を持った担い手(ESD 地域リーダー) 育成事業」2018年度から開始し、2020年度後半の進捗状況をお知らせします。

第3回プラットフォームづくり会議

■日時 2021年1月25日(月) 13:00～16:00

■会場 オンライン(zoom)

■参加者 27名(ファシリテーター含む)
ファシリテーター:石井雅章氏(神田外語大)

■次第 ・実験プロジェクトグループワークの進捗状況報告と
意見交換

・3月14日公開セミナー企画案への意見交換

■内容 緊急事態宣言中のため、会議は zoom で開催。10月26日の実験プロジェクトのワークショップのその後の進捗状況報告を4グループより報告しました。次年度実施できるように、各グループで内容を進め、3月14日の第2回公開セミナーで発表するとしてしました。また第2回公開セミナーの開催内容の企画も皆で検討しました。

グループテーマ:

A:ユースとの連携 B:自然に学ぶ(『自然の達人』人材バンクの構築)

C:学校との連携(100年変わっていないもの探し) D:モデルプログラムの活用



2020年度 ESD 地域リーダー研修会

ESD モデルプログラムの実践状況を学びあう会

■日時 2021年2月22日(月) 13:00～15:30

■会場 zoom オンライン(メインスタジオ:いすみライフスタイル研究所・参加者:zoom)

■参加者 30名(いすみ会場:6名 zoom:24名)

■次第 I部 「田んぼと里山と生物多様性」プログラムから
手塚 幸夫 氏(2018年度 ESD 地域リーダー)

内容: ・いすみ市の学校給食の有機化と教育ファーム ・多様な主体の連携
・コロナ禍で実施できたこと ・動画紹介(活動フィールド)
・民間ベースのサポート いすみライフスタイル研究所 江崎 亮氏

II部 ESD 地域リーダー意見・情報交流

・2020年度実施事例報告:「親子で学ぶSDGS/ESD」(2019年度 ESD 地域リーダー武田みどり氏:八千代市ほたるの里づくり実行委員会)

■内容

ESD 地域リーダー研修会は、各自が作成した ESD プログラムを実践した結果報告を通してお互いが研修する会として1年に1回開催してきました。2020年度は、コロナ禍で実施できない状況が多い中、いすみ市内の小学校の取り組みについて2018年度地域リーダーの手塚さんに報告をしていただきました。

一方、プラットフォームづくりの実験プロジェクト「モデルプログラムの活用」グループとも連携し、手塚さんのプログラム実践をオンラインで紹介するためにプログラム実施場所を取材し、動画

として2月22日の研修会に配信し、参加者で共有しました。

手塚さんの報告から、2020年度はコロナ禍で活動が厳しい中、長者小学校の校庭で、ダンベ(容量:田んぼの土200kg)に米を植えて米の成長と生き物の観察ができたこと。実施できたのは、学校の理解と協力できる信頼関係が出来ていたこと。また、これまでの手塚さんの活動が多様な人とつながり、市役所農政課や学校の先生、またNPO いすみライフスタイル研究所などとも連携して広がり、お互いの信頼が強くなりここまで

展開出来ているということが、よくわかりました。
参加者からは、プログラム実施現場を動画で見ることができたこと、持続可能な地域づくりへの思いを持ち続けて活動していくことが多様な人

とつながって、展開していくということを強く感じたなどの感想がありました。情報交流では、手軽に使える「コンポストバッグ」に関心がわきました。

第2回 ESD/SDGs 理解促進公開セミナー

- 日時 2021年3月14日(日) 9:30~11:30
- 会場 千葉市生涯学習センター小ホール & Zoom(オンライン)
- 参加者 42名(千葉市会場:20名 zoom:22名)
- 次第 I部 SDGs/ESD活動の3年間の報告とこれから
 - ① 2020年 ESDプログラム作成を通しての担い手育成の報告
 - ② プラットホームづくり活動2020年実験プロジェクト報告II部 「SDGs/ESD3年間の活動を踏まえて、今後の方向性の提案」
意見交換 千葉市会場・zoom会場より

■内容

I部では、「SDGs 達成のための ESD 地域リーダー担い手育成事業の報告とこれから」を桑波田代表から、3年間(2018年~2020年)の3本柱に沿って報告がありました。ESDの視点を入れた環境プログラムづくりを通して、ESD地域リーダー育成、SDGsを進めるプラットフォームづくりが実働するプラットフォームづくりを目指したこと、SDGs/ESD理解促進のためのセミナー開催と情報の収集・発信という内容でした。

また、今後3年間で県内に3つの地域拠点をつくり、SDGs/ESDプラットフォームちばがSDGs達成へと向かっていくこと、2021年は千葉県南部地域でひろげる場づくり・人づくりを目指すことをお伝えしました。

①では、2020年 ESD地域リーダーの前川鎮男さんより、プログラムづくりからいただいた多くのアドバイスと地域のつながりを財産に今後活かしていきたいこと、藤平健太さんからは ESDの視点から自分の授業実践を見直すことができた、NPOの方々とは知り合うことができたとの発表がありました。

②では、実働に向けた2020年実験プロジェクトの報告が4グループからありました。山内可奈子さん・松本さやかさん「ユースと地域で作るサステナブルな未来」、小倉久子さん「自然に学ぶ」、島野圭司さん「学校との連携」、江崎亮さん(Zoom)「やってみよう! ESDプログラム」、という次への意気込みが感じられる各々の発表でした。

II部では、3年間通してファシリテーターを担っていただいた石井雅章氏(神田外語大学)から、学ぶことの目的を大事にしてきた3年を振り返りながら、時代の変遷と学びの関係、持続可能な世界のための担い手として生涯学び続けること、学びゆたかな人生・社会をつくるプラットフォームなど、短い時間とは思えない多くの示唆に富んだお話をいただきました。

意見交換では、桑波田代表の進行で、会場意見やZoomから、この3年間に関わっていただいた方々にご意見を頂戴し、今後につなげるご協力をお願いをして閉会といたしました。



石井氏お話し
の画面



会場
の様子

お問合せ: 特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば <https://kanpachiba.com/>

e-mail: info@kanpachiba.com Tel: 090-8116-4633

ESD 全国フォーラム・ポスターセッション出展しています

2020年12月19日(土) 12:00~2021年1月29日

この事業は、地球環境基金の助成を受け実施しています

